

第3回民主主義者・金槿泰賞受賞者に「在日韓国良心囚同友会」
『デイリー中央』（2018年12月21日）

제3회 민주주의자 김근태 상

삶의 전부가 민주주의였던 김근태 의장의 7주기를 맞습니다.

여왕할 때 가장 먼저 아우로 불러줄 때 가장 늦게 돌아나간 것도 눈 아파하다고 고개 숙이던 그가 더욱 그렇습니다.

역사의 진전을 위한 자기 위시와는 인민의 삶을 낙관하고 확고의 근거를 꿰뚫어 남기는 분열이 있습니다.

김근태의 오래된 스페어인 민주주의에 한층 한층 상심스러운 손길을 더하는 그분들에게 용인과 박수를 보내드리기 위해 제3회 민주주의자 김근태 상 수상자를 선정합니다.

김근태의 이름을 알리며, 아보사된 꾀꿍이 같은 분들의 삶이 조금 반물 수 있도록 최선을 다하겠습니다.

김근태재단 / 민생연인우정학회(민생연도동)

제3회 민주주의자 김근태 상 추천하러 가기

문의: 김근태재단 02-720-9373 / 02-784-8093

● 공모기간
2018. 11. 12(월) ~ 30(금)

● 후보자 추천 접수 방법
이메일: gthanbando@daum.net
홈페이지: <http://g4forkr.com> 온라인 접수
우편: 홈페이지에서 양식 다운로드 후 서울시 도봉구 도봉로 462 대림빌딩 5층 (청동 655-13)

● 시상내역
상패 제작: 김운성, 김사경(대외협력팀)
수상결정모금비: 장사익
상금: 1천만 원

● 시상식
2018. 12. 28(금) 19:00
상수야드름

● 선정위원회
위원장: 신영림(이원/동국대학교 석좌교수)
부위원장: 정영규(우석대총장, 민생연 부위원장)
심사위원: 김서경(연희의소사상장기), 김신희(YTN 한국부장), 방한석(SBS기, 중앙대학교 부총장), 오영호(구좌의원, 민생연 사무총장), 윤민석(의국가), 이남우(성균관대교수), 최준호(한경연립 사무총장)

▲民主主義者・金槿泰賞選定委員会は、2018年の第3回民主主義者・金槿泰賞の受賞者を歴史の暗みに青春は失ったが、挫折を乗り越え連帯の民主主義を実践した「在日韓国良心囚同友会」に選定した。
〔韓国デイリー中央イ・ソンフン記者〕

民主主義者・金槿泰賞選定委員会は、2018年の第3回民主主義者・金槿泰賞受賞者に「在日韓国良心囚同友会」を選定したと21日、発表した。

また、特別賞受賞者で蔚山市中区太和洞「リバースイート」入居者一同を選定したと発表した。

2017年11月12日に第3回受賞者公募開始を発表して受賞者選定作業に入った選定委員会は、去る12月16日に最終討論を経て、激論の末、全会一致で「在日韓国良心囚同友会」を受賞者に決定した。また、選定委員会は、アパート警備員と環境美化員の解雇を防ぐために、各世帯管理費を追加で負担することにした蔚山市太和洞「リバースイート」入居者一同を、特別賞受賞者に選定した。

選定委員会は、第3回の民主主義者・金槿泰賞は受賞者に対する尊敬であり、共にするという連帯の意味を持つと説明した。

「在日韓国良心囚同友会」は、軍事独裁政権時代、韓国情報当局のねつ造スパイ事件によって悔しい獄中生活をしてきた在日同胞留学生、在日同胞の訪問者などが集まって、1990年に結成された。少なくとも5～6年、長くは20年近く矯正所に閉じ込められて青春を奪われた人々が、日本の大阪で李哲を中心に団結した。

韓国良心囚としての自覚を持って生きていくことと、良心囚の釈放のための活動、韓国民主化運動との連帯、そして仕事と生活、子どもたちの教育問題などの悩みを一緒に分かち合おうという趣旨で、結成された。

結成以来、これまでも、在日同胞拷問被害者の名誉回復と、再審のために物心両面で努力している。

また北朝鮮住民の食糧支援のためのキャンペーンなどを通じて、韓半島の平和と統一のための活動も継続している。

申庚林選定委員長は受賞決定文を通じて、「第 3 回民主主義者・金槿泰賞は、破壊された青春を踏み越えて、再度立ち上がって連帯の手を差しのべて希望の力を見せてくれた在日韓国良心囚同友会に捧げる尊敬と感謝」であり、「(また) その方々を裏切った祖国に代わって捧げる深い謝罪であり、二度と大韓民国をこのような野卑な祖国にしないという、私たちの約束」だと明らかにした。

印在謹・金槿泰財団理事長は、「最近、在日同胞スパイ事件の犠牲者のために名誉回復判決が続いている。屈辱を受けていた心痛む真実が勝利している」とし、「在日同胞スパイ事件の犠牲者は青春を奪われ、壊された人生を生きなければならなかった。彼らの胸に刻まれた傷が少しでも早く癒えることができるように、治癒と連帯の道を共に進んでいく」と明らかにした。

特別賞の受賞者に選ばれた蔚山市太和洞「リバースイート」入居者一同。かれらは今年初めの最低賃金引き上げにアパート警備員と環境清掃員の賃金引き上げが避けられないとなると、これを住民投票にかけて「毎月、世帯別管理費を追加で負担して警備員と環境清掃員の雇用を現行通り維持」することを議決したアパート入居者たちだ。

民主主義者・金槿泰賞は、金槿泰財団と民主平和国民連帯（民平連）が主管して金槿泰民主党前常任顧問の 5 周忌である 2016 年に初めて制定された。

第 1 回受賞者には、4.16 セウオル号惨事家族協議会が、2017 年第 2 回受賞者は、民衆の歌の作曲家尹ミンソク氏がそれぞれ選ばれた。第 3 回目をむかえた今年は本賞に加えて、日常の中で民主主義の価値を高め、私たちの社会の発展のために模範を見せた人々のために「特別賞」部門を新設した。

この選定委員長に申庚林詩人が参加して張永達・又石大総長、ギムソギョン作家（平和の少女像制作）、キム・ソンヒ YTN 全国部長、小説家バンヒョンソク中央大総長、オヨウンファン民主党国会議員、イナムジュ聖公会大教授、チェジュンホ環境連合事務総長など学界、文化芸術、言論など多様な分野で選定委員が委嘱されて、選定手続きを担当した。

第 3 回民主主義者・金槿泰賞授賞式は来る 28 日午後 7 時、聖水アートホールで行われる。その後 7 時 30 分からは、同じ場所での民主主義者・金槿泰先生第 7 周忌追慕文化祭が行われる。

民主主義者・金槿泰賞の構成は、賞牌と受賞決定文、賞金 1000 万ウォンである。賞牌は、民主主義者・金槿泰の生前の姿を丸彫で製作し、毎年時代の状況を反映する意味のある姿を入れる。

また、賞牌の製作は金槿泰告別式当時の美術分野を担当し、現在の平和の少女像を制作しているキム・ウンソン、キム・ソギョン作家が引き受けることにした。

受賞決定文（添付文書を参照）は、「民主主義者・金槿泰賞」を授与する理由と価値を説明する文章である。

申庚林・選定委員長など選定委員が作成し、民主主義者・金槿泰先生と長い間の友情をわかちあって、意を共にしたチャン・サイク先生が直接書いた文字で製作して授賞する予定である。

第 3 回民主主義者・金槿泰賞受賞決定文

在日韓国良心囚同友会 様

青春を奪われて壊れた人生を生きなければならなかった人々がいます。彼らの青春を奪ったのは、思い出だけでも目がしらを熱くさせた“祖国”でした。熱い懐かしさと愛を抱いて訪ねた祖国は、彼らにあまりにも残忍でした。

6～70 年代には、独裁政権は在日同胞留学生、在日同胞訪問者を対象としたねつ造スパイ事件を執拗に繰り返して作りだしました。71 年徐勝・徐俊植兄弟事件、74 年鬱陵島スパイ団事件、75 年在日留学生スパイ団事件など、北朝鮮の迂回浸透という名目で事件がねつ造され、80 年代に入ってから、安企部によって 3～4 ヶ月に一度、全国民を恐怖に追い込むスパイ事件が作られ、その犠牲者は祖国に純情な在日同胞青年たちでした。

脅迫とでっち上げによってねつ造されたスパイとなり、死刑や無期懲役刑の宣告を受けた方々が中心になって自分自身を救い、大韓民国の良心を救うために活動してきた団体が、在日韓国良心囚同友会です。

彼らは祖国に徹底的に棄てられました。彼らの青春は、祖国の矯正所で暮れ果てました。ようやく生きて帰った在日同胞社会でも、彼らは肩身の狭い存在として残らなければなりませんでした。

しかし在日韓国良心囚同友会は、人間の希望と祖国への愛を放棄せず、連帯の道を選択しました。韓国良心囚の招聘や、北朝鮮住民の食糧支援、在日同胞社会の葛藤の治癒活動を広げてきました。人間の価値は、その人が抱いた希望により決定されるという金槿泰議長の言葉は、まさにこの方々の生き方と重なります。

卑劣な独裁権力によってねつ造された在日同胞スパイ事件の犠牲者のために、名誉回復判決が続いています。司法が許しを求め、再審を通して 34 人に無罪判決（2018 年 11 月末現在）を決定しました。侮辱させられた心痛い真実が勝利しています。

第 3 回民主主義者・金槿泰賞は、破壊された青春を踏み越えて、再度立ち上がって連帯の手を差し伸べて希望の力を見せてくれた在日韓国良心囚同友会に捧げる尊敬と感謝で、その方々を裏切った祖国に代わり捧げる深い謝罪であり、二度と大韓民国をこのような残忍な祖国にしないという、私たちの約束です。

2018 年 12 月 28 日

第 3 回民主主義者・金槿泰賞選定委員会 金槿泰の平和と共生のための韓半島財団（金槿泰財団）／民主平和国民連帯（民平連）

第 3 回民主主義者・金槿泰“特別賞”受賞決定文

蔚山市中区太和洞「リバースイート」入居者一同 様

ここに、人が先である世の中を作っていく方々がおられます。共に生きていく暖かい市場経済が、私たちの人生の現場でどのように可能なかを見せた方々がおられます。

人を投げ出して得る利益より、人を守る価値を選択することによって、自身のアパートを世の中で最も美しく価値ある家に作ったこの方々、いくら多くの費用をかけても学べない人の心がけを、私たちに全て教えてくれたこの方々によって、私たちの社会は相変わらず希望の根柢を守ることができるようになりました。

負担を減らすために、アパートが職場である方々を追い出す代わりに、もう少し多くの負担を選択した蔚山市太和洞「リバースイート」入居者の決断に対して、私たちは暖かい市場経済を成し遂げて生活の中で民主主義を定着させようと思った金槿泰議長の名前をもって、真心に充ちた共感の拍手を送ります。

第 3 回民主主義者・金槿泰“特別賞”は、利益には鋭敏ながらも価値には鈍感になりやすい私たちの社会に向かって“人間の価値”がどのように決定されるかを問いただした「リバースイート」入居者に送る敬意であり、その答えを探る旅程を共にするという、私たちの約束です。

2018 年 12 月 28 日

第 3 回民主主義者・金槿泰賞選定委員会 金槿泰の平和と共生のための韓半島財団（金槿泰財団）／民主平和国民連帯(民平連)

イ・ソンファン記者